

# 制海権なき出撃、ヒ 86 船団の最後

## 血の一滴よりも油の一滴



この船団は油送船 4 隻・貨物船 6 隻で、昭南（シンガポール）から日本本土へ物資を運ぶ重要船団として編成された。

1944 年 12 月 30 日昭南出港、年明けの 1 月 9 日には米軍がルソン島に大挙上陸し制海権が失われる戦況下で、1945 年 1 月 12 日 11 時 30 分、米軍艦載機 16 機が飛来、各船全武装火力を挙げて激闘したが、仏印キノン湾（現ベトナム、クイニオン湾）北方 30km の陸岸近くで全滅し、多くの人命と財貨が、圧倒的な攻撃により短時間のうちに失われた。たそがれを迎えた戦局の縮図といえよう。

船名	船主(運航)	船種	総屯数	沈没・擱坐	戦死者	
予州丸	宇和島運輸	貨物船	5,711	12:00 沈没	船員 45	(便乗者)5
永万丸	日本郵船	貨物船	6,868	12:20 沈没	35	(兵士)13
建部丸	大阪商船	貨物船	6,968	14:10 擱坐	0	0
大津山丸	三井船舶	油送船	6,859	14:30 擱坐	18	(兵士)7
優清丸	東京都	貨物船	600	15:30 擱坐	8	0
極運丸	極洋捕鯨	油送船	10,045	15:40 擱坐	12	0
辰鳩丸	辰馬汽船	貨物船	5,396	15:4 退船放棄	10	0
第 63 播州丸	西大洋漁業	貨物船	533	16:00 擱坐	8	0
さんるいす丸	三菱汽船	油送船	7,268	17:15 退船放棄	3	(兵士)9
昭永丸	大阪商船	油送船	2,764	17:40 退船放棄	7	(兵士)3
第 23 海防艦	海軍	護衛艦		18:30 沈没		兵士 155
<b>合計</b>	<b>10 隻</b>		<b>53,012</b>		<b>101</b>	<b>32</b>

最後に残った「さんるいす丸」は集中攻撃を受けたが、弾薬は撃ちつくし、機銃も破壊され、船体は多数の弾痕と至近弾で著しく損傷、16 時には陸岸に乗り上げたが空襲はなお続き、17 時頃には 30 機が殺到し、後部油槽には直撃弾 2 発、船橋・船尾では至近弾 6 発が炸裂、船体はズタズタに破壊され、積荷の原油に引火炎上し、放棄を余儀なくされた。